

Title: 「明日はどっちだ」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



徳田 敬大
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べ歩き
好き。世界という大海
へ向け、今、旅立と
うとしています。

● 最近のエントリー

- ☞ 帰ってきた 日本の国 (2006.09.20)
- ☞ 韓国はハンダ (2006.09.14)
- ☞ タイからKL (2006.09.09)
- ☞ ちまんなーい (2006.09.05)

● アーカイブ

- ☞ 2013年06月
- ☞ 2011年01月
- ☞ 2010年10月
- ☞ 2010年09月
- ☞ 2010年08月
- ☞ 2010年07月
- ☞ 2010年06月
- ☞ 2010年05月
- ☞ 2010年04月
- ☞ 2010年03月
- ☞ 2010年02月
- ☞ 2010年01月
- ☞ 2009年12月
- ☞ 2009年11月
- ☞ 2009年10月
- ☞ 2009年09月
- ☞ 2009年08月
- ☞ 2009年07月
- ☞ 2009年06月
- ☞ 2009年05月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年02月
- ☞ 2009年01月
- ☞ 2008年12月
- ☞ 2008年11月
- ☞ 2008年10月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年08月
- ☞ 2008年07月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2007年11月
- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年08月
- ☞ 2007年06月
- ☞ 2007年05月
- ☞ 2006年10月
- ☞ 2006年09月
- ☞ 2006年08月
- ☞ 2006年07月
- ☞ 2006年06月
- ☞ 2006年05月
- ☞ 2006年04月
- ☞ 2006年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

明日はどっちだ > 2006年09月 アーカイブ

06.09.20

帰ってきた 日本の国

Tweet

いいね! 0

チェック

約半年間の海外での生活も終わり、今は日本にいる

とても長いように思っていた半年間は
以外にも、家に帰ってみると

あれ? 何か記憶 やたら違いけど?

みたいに、終わってみると あっという間 な感じ

しかし、日本に帰って5日目。
自分が日本から、何千キロも離れた所にいた。
と思うと、ますます記憶が遠くなっていく



大阪から家に帰ると
さっそく犬の散歩を頼まれたり と
免許更新のはがきが来てたり と
いきなり、現実が引き戻されたわけで
しかし、ちょっとばかり日本の生活にリハビリが必要なわけで



まあまあ
いろいろ ありすぎた 182日間—らしい の 海外生活
なかなか 一言や三言 じゃ〜語れませんよ。。。。

そんなこんなで、
日本帰国まで皆、大きな病気やケガが無くてなによりでした
そんな、僕らを引率していただき 支えてくれた
五十嵐先生 そして 学校 全ての方々に

本当に ありがとうございます!

そして、この旅で出会った人たちにも感謝です。。。。

しかし また 長いこと海外に行きたいなど
思ってしまう日々です。。



post by 徳田 敬太 | 日時: 2006.09.20 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2006年09月 アーカイブ

06.09.14

韓国はハングル

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

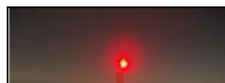
[チェック](#)

2度目の韓国は旅の終わりを告げる場所

ソウルではまた、板門店に行った
2回 板門店に行く人は、なかなかないらしく
前に感じたときの北朝鮮の国境ドキドキ感も少し薄れてしまっていた。。
しかし、なぜだかあそこに行くことやたらに疲れる
たった半日ツアーなのに帰ってくると、頭は痛いし気分は良くないしと
不思議な場所だった。。



んで、かるくソウルの夜景





そして、KTXに乗り今いる釜山
 ここは旅の最終地点。
 とりあえず最後なんでも撮影にもふらっと出かけてみたり



最後の焼肉を楽しんだり
 わりかし、ゆっくりしている
 しかし、そんな釜山も今日でおしまい
 なぜならそれは、日本行きフェリーに乗るから。日本に帰るから。
 旅の最初もそうだったけれど 最初はまだ
 これから半年海外を回るなんて信じられん だの 実感が無い だの
 言っていて
 旅が終わる今も 終わる気がしない
 なんて少し思ってる気がする。。。
 終わる気がしないんじゃないかって、終わりたくないのかもしれない



あと、2回聞く船の汽笛
 フォーーーーーっと

1回目、船の汽笛は、おそらく 寂しいと 感じるものになるでしょう。

2回目聞く汽笛は日本到着の しるし
 まだ分からない、日本の地面を踏むとき自分はこの旅を
 どう 思うのだろうか。。。
 ...

もっあと、3時間くらいで出航。
ホントに終わってしまうで！この旅が！

カテゴリ：
post by 徳田 敬太 | 日時: 2006.09.14 | [パーマリンク](#)

明日はどっちだ > 2006年09月 アーカイブ

06.09.09

タイからKL

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

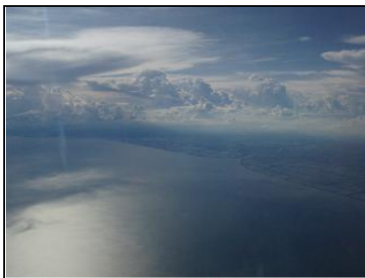
[チェック](#)

タイでは最後にワットプラケオに行った
久しぶりにこのワットに来たけれど、ここは計4回
しかし、入場料高いんよ。。。



昨日の飛行機から見える夕日と雲は今までにないくらいキレイだった。。

タイを離れる時の景色



今、マレーシアのスクーリング施設において

先生や一部のクラスの人が韓国行きの飛行機の時間を待っている





自分は、昨日タイからマレーシアに移動し

同じようにこの家で時間待ち

何気に、この家にもう来ないとなると寂しかったりする。。。



じゃあね、P. J ベタリンジャヤ！

post by 徳田 敬太 | 日時: 2006.09.09 | [バナーリンク](#) | [コメント\(3\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2006年09月 アーカイブ

06.09.05

ちえんらーい

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

今日は朝から移動だった タートン→チェンライ
前日聞いた話ではバスは通ってるけど
出発が午後3時とのこと
んな、待ってられんで。。

ってなことで、ソントウ乗継でチェンライ目指し

タートンから黄色いソントウでキースタイとやらまで
朝一出発のためか車内はガラガラ
途中通った道で市が開かれていて、カレン族の人が買い物してた
どうやら、こういった場所に来るときは首に布を巻くみたいです



1時間後

キューサタイ着 から緑のソントウに乗り換え
そこからメーサーンとやらまで
田園風景が続く。。。
現地の人が多くなり、ちょっくら気まずいんで
自分はソントウの後ろにつかまりながら行きやした





1時間後

メーカーのソテウ乗り場で降ろされた
「そこで、待ってれば、ソテウ来るから」
確かに、現地の人も待ってるけど字読めないんで。。。
字読めないんで、来たソテウに「チェンラーイ？」と教度



午後10時着
意外に早く、すんなりチェンラーイには行きました。

そして、今日もカレン族の村へ
町からトゥクトゥクで30分くらい
以外に近いもんで、

ちゃっかり、門まであっちゃたりして
タートンの村よりも観光地化されていた
入り口にはレストランや土産屋 おばちゃんもいて
えっ？ こまで？ と、思わせる程でした
いくら町から近いとはいえ...



案内は少年ガイド「ゴンカーウ」





少数民族観光村

といっても、おかしくないような村で
観光客が来たら、衣装を正して「サウディーカー」 っと。
どうやら、この村は踊りや音楽の演奏もあるようです。

ってなことで、町へ戻り
大人気の Air Asia で、明朝出発 バンコック！！

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2006.09.05 | [パナマリンク](#)

[明日はどっちだ](#) > 2006年09月 アーカイブ

06.09.04

タートン とん

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)

チェンライからローカルバスで4時間
朝7：20発のバスに乗ったはいいが
このバスはなんて心地よいバスなのだろうか
揺れ、風、明るさといひ 申し分ない。
そんなこんなで途中隣のおじさんにコココと迷惑もかけたし
乗ってる時の記憶はあんまり無いけれど無事タートンに着いた。
タートンの真ん中に川が流れていて
どーやらボートでチェンライまで、自分は行けないけれど 行けるらしい。



すぐさまゲストハウスでチェックイン！
行かねばならぬ！いざ、カレン族の村へ
んが、もちろん行き方なんつゝ〜知ったこっちゃありません
GHMのおっちゃんや店のおっちゃん情報収集。
以外にすんなり分かるもんで
黄色いソンテウに乗れば行けるらしい。。。

とりあえず、ソンテウ乗り場へ。
「すいません、カレン族。あの首の長い人たちの
村へ行きたいんですけど？」 いた、おっちゃんに話しかけた
もちろん、言葉は通じないので何となく。。。。
「あーあー！分かった。分かった。とりあえず乗れ。」
えっ？これで行くんだ。この黄色いソンテウで。
この乗り物はまさしく現地の人の為の乗り物で
乗っている人の中には民族衣装を着た人も何人かいました。。。

自分はず中に入りきらないので外につかまりながら
つかまるのを若干楽しみながら出発。
この日は太陽の日差しが強いから
自分の皮膚に 焼ける、焼ける。
と、いいながら、 そんなことをしている間に約30分 到着。
自力でこないだと同じ場所にまさかホントに来れるとは。。。。
違う場所に来なかったのが幸いです

揺りはどーしましょーか？ヒッチハイクでもしましょーか？
運転手のおっちゃんは言いました「4：30にまたここで！」

入り口はこんな感じです。





こんな道を150分ほど行くと...



見えてきました！まさしくこないだ来た村です！
間違いありません！

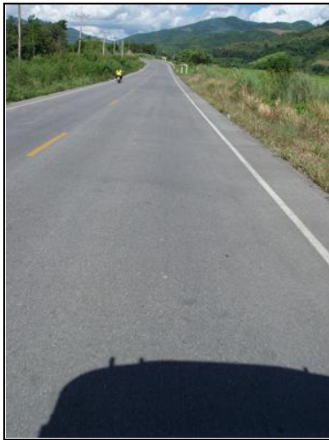


自分が行った午後1時から3時くらいが一番観光客が来るようです
数グループが、自分がこないだ来たミニバスで来ます。
しかし、やはりここは遠い
さすがに、たくさんは来ないよ。。。
3時くらいになると一気に人が来なくなり、村の子供たちが
外へ出て遊び始めた、そんなところでターンへ戻るーか。。。

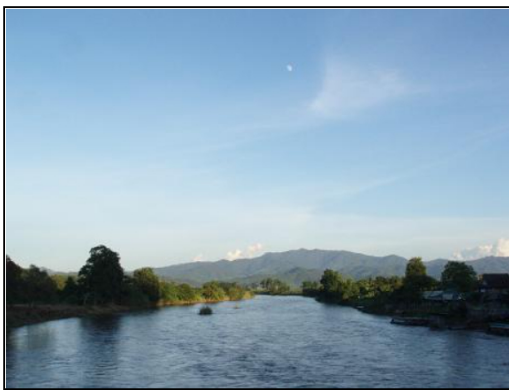




ありゃ〜。どーやって帰るかな???
おっちゃんは4:30って言ってたし。
とりあえず、ソンテウ通るの待とかかな
とか、思ってる時
さっきのおっちゃんが通ってくれた。
なぜか時間は違っけれどラッキーだぜ!
帰ろー タートンへ



明朝 出発 チェンラーイ



カテゴリ:
post by 徳田 敬太 | 日時: 2006.09.04 | [ホームリンク](#) | [コメント\(1\)](#)

[明日はどちらだ > 2006年09月 アーカイブ](#)

チェンマイの日

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

チェンマイのワットを少し巡ってみた。。。





金色の反射って思ったよりまぶしいんよ。。



チェンマイのナイトマーケット は、いい マーケット
タイに来て、いかんと思うことが一つ。。
もう終わりに近づいているこのFW。
不要な荷物は送ったはずが日々確実に増えていっている
ガラガラだったバックパックの中が少し、また少しと増えていく。。
イカンな。。



post by 徳田 敬次 | 日時: 2006.09.04 | [カテゴリ:](#)
[バーマリンズ](#)

[明日はどっちだ > 2006年09月 アーカイブ](#)

ツアーで行ったもんだ

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

今回のタイでは首長族の村へ行き撮影をするのが目的なんだ!
(いいね!がたまりません)

行かないははっつぬ！
ので、ちょっと「カレン・ロングネック・ツアー」
とやらに参加してみた。
ホンは自力で行きたい場所。
なぜなら、撮影するにはツアーはちとやりにくい
自由に行動できないし
ってーことが分かったから。。

ツアーは11人編成。
英語のガイドさんがいるミニバスのようなもので出発
ポーランド・オーストラリア・韓国・タイ・んで自分の日本
さらっと聞き耳立ててこんだけの国の人が一纏のバスに乗っていた
ふしぎなもので、そんなところがちょっと面白くもあった。。

途中、チンダオ洞窟に寄ったさ。



そして、カレン族の村へ到着
片道3時間30分 往復7時間は正直キツイでっ！
この日も、少し天気が悪く今にも雨が降りそうで
そんな中たどり着いたこの村。
話に聞いたり、TVで観たうわさの首の長さはそんな気にならず
逆に村が思ったよりも観光地化されていることに驚いた。





もう一回くらいは着たいこの場所にまたツアーは無いでしょ！
 時間がかり過ぎるし、撮影できたのは実質30分くらい
 聞いた話によると、この村は「タートン」という町から30分

こうなったら、タートンに行くしかないのでは？
 と、考えましたので移動を決意した。
 そこからは次に行く場所、チェンライもわりと近いからさ。。。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2006.09.04 | [バナーリンク](#)

[明日はどっちだ > 2006年09月 アーカイブ](#)

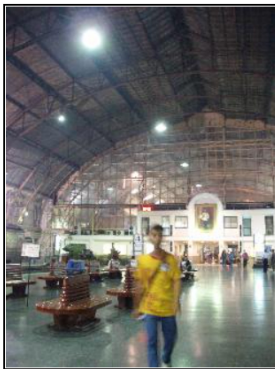
タイの列車でチェンマイへ

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

バンコクから、チェンマイへは列車での移動だった
 久しい、タイの列車。
 こないだはアナタヤーに行ったりマレーシアに行ったときに乗ったもんだ。
 乗った車両にはなぜか外国人がわんさかいて
 まるで、外国人専用車両。



しかし、チェンマイに着いた方がいいが
 雨ばかり。。
 しとしと、さらさら
 降る雨。重い空と、ささない光
 まさに、雨季を思わせる
 前回来た時のカンカンの日差しは何処へ？
 これじゃー焼けて帰れんで！





カテゴリ：
post by 徳田 歌次 | 日時: 2006.09.04 | [パノラマリンク](#)